

## 令和8年度当初予算主要施策

課名 保育課

施策名 (予算事業名)	子育てポータルサイトの構築 (児童福祉庶務事業)	新規
令和8年度 予算額	初期費用 6,000 千円 ライフデザイン機能 3,960 千円 保守管理費用(3か月分) 1,140 千円	合計 11,100 千円
概要	<p>◆ 取組の内容</p> <p>子育てに特化した情報を、子育て世代が簡単かつ素早く取得できるように、親しみやすいデザインとわかりやすい簡潔な内容にまとめたポータルサイトを構築します。また、ライフデザイン機能により、若い世代が将来の生活を見通すことで不安を解消できるよう支援します。</p> <p>◆ 取組の目的・背景</p> <p>子育てに関する情報は、市ホームページ、LINE 公式アカウント、冊子やチラシなどに分散し、かつ複数の部署に分かれていて総合的な情報提供が困難となっています。また、市ホームページは対象が広く情報が網羅的である一方で、必要な情報を見つけにくく、行政特有の堅い表現や複雑な情報構成が、子育て世代にとってわかりづらい状況となっています。(過去1年間の健康・こども部の FAQ645件中、半数以上が制度に関する質問)</p> <p>◆ 取組により得られる効果</p> <p>知りたい情報を取得しやすく、わかりやすい説明を提供することで、市で実施している制度や事業を知ってもらうことができます。また、ポータルサイト内で調べたいことが解決できることで、電話やメールで改めて問合せをする負担が軽減される。同時に行政に対する堅く難しいイメージをなくし、手続きやイベント等への参加が気軽にできるようになります。さらに、生活設計をシミュレーションし、将来の見通しが立つことで、結婚・妊娠・出産を希望する人の願いを実現する環境を整えます。</p> <p>◆ 開始予定時期 サイト構築: 令和8年度4月から サイト運用: 令和9年1月から</p> <p>◆ 対象</p> <p>平塚市に居住・転入検討中の0歳から小・中学校の子どもをもつ親、子どもが欲しいと考えるプレ子育て世代</p> <p>◆ 県内(あるいは全国)他団体の状況</p> <p>全国の多くの自治体で導入が進んでいる、母子手帳アプリ『母子モ』を用いた情報ツールではなく、独自の子育てサイトを公開しているのは湘南エリアでは茅ヶ崎市に次いで2番目。ライフデザイン機能も含めたサイトは湘南エリア・県内ともに初。</p>	



## 令和8年度当初予算主要施策

課名 こども家庭課

施策名 (予算事業名)	子どもに寄り添う支援体制 訪問療育相談の実施 (地域療育システム事業)	新規
令和8年度 予 算 額	訪問療育相談委託料 2,800 千円	合計 2,800 千円
概 要	<p>◆ <b>取組の内容</b>                      児童発達支援センター(アグネス園)が、保育所等に巡回して園への支援を行う、訪問療育相談を実施します。</p> <p>◆ <b>取組の目的・背景</b>                      令和6年4月に改正された改正児童福祉法を踏まえ、児童発達支援センターが中核的な役割を果たせるよう、機能強化を行うとともに、地域全体で障がいや発達に課題のある児童に提供する支援の質を高め、支援体制の強化を図ります。</p> <p>◆ <b>取組により得られる効果</b>                      児童発達支援センターの専門的な知識や経験を地域全体で発揮することにより、障がいや発達に課題のある児童に提供する支援の質が高まります。                      また、今まで市直営で行っていた訪問療育相談を児童発達支援センターが行うことで、保護者支援を行う、市こども発達支援室くれよんの相談体制が強化され、待機時間が1か月短縮されます。</p> <p>◆ <b>開始予定時期</b>                      令和8年5月から</p> <p>◆ <b>県内(あるいは全国)他団体の状況</b>                      類似事業を藤沢市が令和7年度から実施</p>	



## 令和8年度当初予算主要施策

課名 健康課

施策・事業名	妊娠・出産から産後までの支援 ①妊婦健康診査事業の費用助成 (母子保健事業)	拡充
令和8年度 予算額	妊婦健康診査委託料 9,187 千円 妊婦健康診査受診者補助金 △564 千円 妊婦健康診査印刷製本費 434 千円	合計(拡充分) 9,057 千円
概 要	<p>◆ 取組の内容</p> <p>妊婦健康診査を受診する際に使用する補助券を、受診券の方式に変更します。 助成額を合計10万円から11万1千円へ引き上げます。</p> <p>◆ 取組の目的・背景</p> <p>妊婦健康診査については、国が受診券化と妊婦の負担軽減を推進しています。 国の定める「妊婦健康診査についての望ましい基準」の検査項目が必ず実施されること、 検査にかかる費用の妊婦負担がないことを国は目指しています。 神奈川県でもすべての市町村において受診券化と妊婦の負担軽減がされるよう推進していることから、本市も取組を推進してまいります。</p> <p>◆ 取組により得られる効果</p> <p>妊婦が適正な健康診査を受けることで安心して出産できる環境が整います。また経済的負担の軽減を図ることで妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援が充実・整備されます。</p> <p>◆ 開始予定時期</p> <p>令和8年4月1日</p> <p>◆ 対象者・見込み人数</p> <p>令和8年4月1日以降に妊娠届出をされた方 約1,320人</p>	



## 令和8年度当初予算主要施策

課名 健康課

施策・事業名	妊娠・出産から産後までの支援 ②産婦健康診査事業の費用助成 (母子保健事業)	拡充
令和8年度 予算額	産婦健診委託料 7,139 千円 産婦健診助成金 505 千円	合計(拡充分) 7,644 千円
概 要	<p>◆ 取組の内容</p> <p>産婦健康診査の回数と助成額を増やします。                  現在は産後1か月健康診査のみの実施ですが、産後2週間健康診査を新設します。                  また健診費用を3,000円から5,000円に増額します。</p> <p>◆ 取組の目的・背景</p> <p>産後間もない時期の母の身体的機能の回復や授乳状況及び精神状態等について、早期に医療機関で確認することで、母子の健康を守りながら健やかに育児ができるよう必要に応じて適切な支援につなぎ、切れ目のない支援体制を整備します。</p> <p>◆ 取組により得られる効果</p> <p>産婦の経済的負担の軽減とともに母子の健康を守り、産後うつ予防や新生児の虐待予防等を図ります。</p> <p>◆ 開始予定時期</p> <p>令和8年4月1日</p> <p>◆ 対象者・見込み人数</p> <p>産後1か月健診は令和8年4月1日以降に健康診査を受けた方      約1,320人                  産後2週間健診は令和8年4月1日以降に妊娠届出をされた方      約 660人</p>	

## 令和8年度当初予算主要施策

課名 青少年課

施策名 (予算事業名)	ライフデザインセミナーの開催 (若者の未来応援事業)	新規
令和8年度 予算要求額	ライフデザインセミナー企画・運営委託 462千円	合計 462千円
概 要	<p>◆ 取組の内容 市内の大学で学生向けに、ライフデザインを自分事として捉え、将来に前向きになるよう、セミナーの開催をします。</p> <p>◆ 取組の目的・背景 多様な価値観、少子化の現代社会において、総合計画やこども政策フレームにおける「若い世代の(結婚)希望をかなえる取組」の一環として、自身が納得感のある将来を見通せるよう、ライフデザインに関する情報発信に取り組みます</p> <p>◆ 取組により得られる効果 ライフデザインを自分事として捉え、自分の価値観を知ることによって将来を考えるベースとなり、結婚や子育てなどのライフイベントに前向きに取り組むことができます。</p> <p>(時期) ◆ 開始予定時期 令和8年6月～7月(予定)</p> <p>(規模) ◆ 対象人数 大学生150人程度</p> <p>(希少性) ◆ 県内(あるいは全国)他団体の状況 湘南初(神奈川県平塚市内では横浜、川崎、相模原の政令市のみが実施)</p>	

